

論点整理(操縦士)

論点1：重点テーマの選定

- 検討会での意見交換やヒアリング等を踏まえ、以下の「3つの柱」「7つの項目」を重点テーマとしてはどうか

1. 現役操縦士の活用推進

① 外国人操縦士の活用促進

ー即戦力の人材として海外エアライン等でのライセンス取得者の活用を期待。このために、日本のライセンスの切り替えを可能な限りスムーズに行えるよう見直してほしい

② シニア人材等の活用

ー65歳以下の付加検査の廃止など、シニア乗員の活用を進めるための制度に見直してほしい
ー十分な経験をもつ機長等が、身体検査証明が未保有になった場合であっても、例えばシミュレータによる訓練教官など、実際の操縦を伴わない業務への活用を認めて欲しい

2. 操縦士養成の強化・効率化

③ 航空大学校の安定養成

ー今後の航空需要の増加に対応するためには航空大学校での安定養成が必須。このためには、同大学における待機学生の早期解消、養成・運営の効率化、訓練空域の拡大、老朽施設の見直しなどを行うべき

④ 機長養成の迅速化

ー団塊世代の大量退職によって機長不足が顕在化。早期に機長を養成するための制度見直しなどが必要ではないか

3. 裾野拡大

⑤ 効果的な普及啓蒙

ーメディアの積極活用、対象地域の拡大、広報媒体の共有化、小学生を対象にした広報など、より充実した広報活動が必要ではないか。

⑥ 私立大学への活用促進

ー裾野拡大に向けては私立大学での養成拡大が必須。私立大学の志望数拡大に向けて、学生負担の軽減、養成機関の増加、養成レベルの向上が必要ではないか

⑦ 女性パイロット等の拡大

ー国内エアライン操縦士の女性割合は約1.7%。他モードや他国と比較しても低水準。裾野拡大に向け操縦士の分野において女性活躍を推進するべきではないか